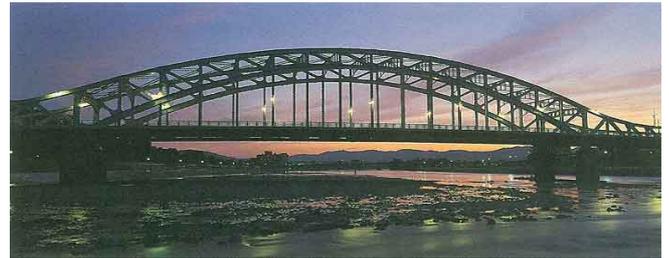


北海道遺産「旭橋」が架け橋となる民と官の協働

旭川市

1. (P) 旭川市のシンボル「旭橋」

「旭橋」は道北の中心都市旭川を流れる石狩川に架かる橋で、昭和7年、鋼鉄製のアーチ曲線を描く橋が当時の最新技術をもって完成しました。完成から74年を迎え、いくつもの時代を見つめてきた「旭橋」は北海道遺産、土木学会推奨土木遺産に選奨されており「川のまち・旭川」のシンボルです。また、旭橋に思いを寄せる市民有志による「旭橋を語る会」が発足するなど、「旭橋」は市民に大変親しまれています。



2. (D) 「旭橋」を身近に感じるイベントなど



旭川開発建設部では、北海道遺産であり土木学会選奨土木遺産でもある「旭橋」を活用した旭川観光支援の一環として、旭川夏まつり実行委員会、旭川市、旭川商工会議所、(社)旭川観光協会他多数と協働で、7月29日～8月5日までの期間、旭橋から滝の放流を行いました。また、夏まつり期間の8月3日～8月5日は放流時間の延長とあわせて夜にはライトアップも同時に行いました。旭橋からの光り輝く滝の放流は、真夏の夜の涼しさを演出し、集まった市民は名橋「旭橋」のたもとで夏の夜のひとときを過ごしました。

平成18年8月4日、旭川市立北光小学校で「旭橋」を題材とした地域交流習字大会が、開催されました。本大会は北光小学校コミュニティスクール運営委員会の主催(旭橋を語る会後援)で行われ、当日は北光小学校児童や地区町内会など約50名が参加し、半世紀以上にわたり激動の時代を見つめてきた「旭橋」を題材に条幅競書を行いました。また、当建設部製作の「旭橋物語」ビデオ鑑賞や旭橋のパネル展示も同時に行い、旭川市民の誇りであり財産である「旭橋」を通じて地域の交流と親睦がより一層深められました。



3. (C) 橋をテーマにした総合学習発表会



平成18年7月11日、旭川市立桜岡中学校で「橋」をテーマにした総合学習発表会が開かれました。本発表会は、旭川の橋を様々な角度から調べ旭川について考えてみようという主旨で行われ、各学年 毎にそれぞれ選定した橋についての過去(歴史や構造)、現在(現在の状況や交通量調査)、未来(今後の計画の調査)について、文献や現地での調査、道路管理者への聞き取り調査などを行い、得られた情報をとりまとめて発表するものです。

4. (A) 旭橋を守る取り組み



総合学習発表会に「旭橋」を選定した桜岡中学の1年生が、現地調査時に橋台に落書きがあるのを見つけ、「自分たちが歴史ある構造物を守りたい」と考えたことがきっかけになり、平成18年10月18日に生徒達と旭川開発建設部が協働で落書き消しを実施しました。

完成後73年が過ぎた「旭橋」は老朽化が進み補修・補強が必要となったため、今年度からの補修工事が始まりました。補修計画の立案にあたっては、「旭橋保存懇談会」により、地域の財産として「旭橋」をどのように保存すべきか地域の意見を取りまとめ、橋梁の構造力学や地盤工学の専門家からなる「技術検討委員会」に提言しています。



「旭橋保存懇談会」の様子